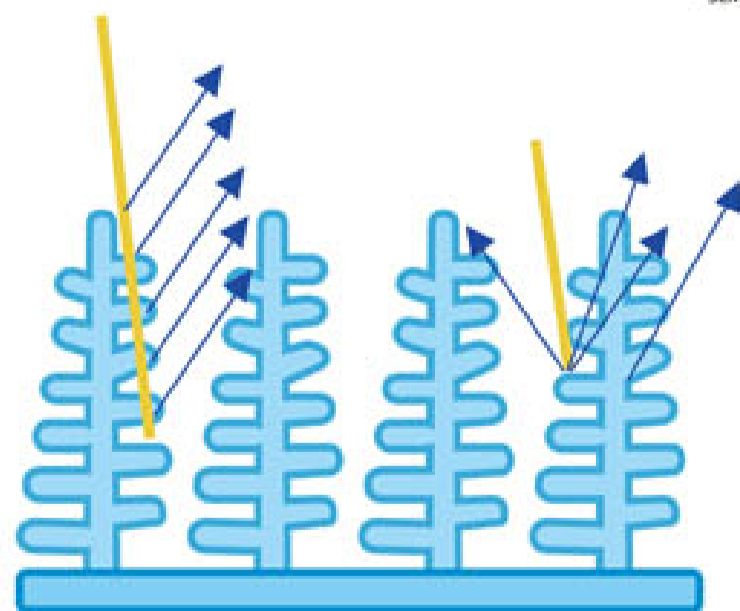
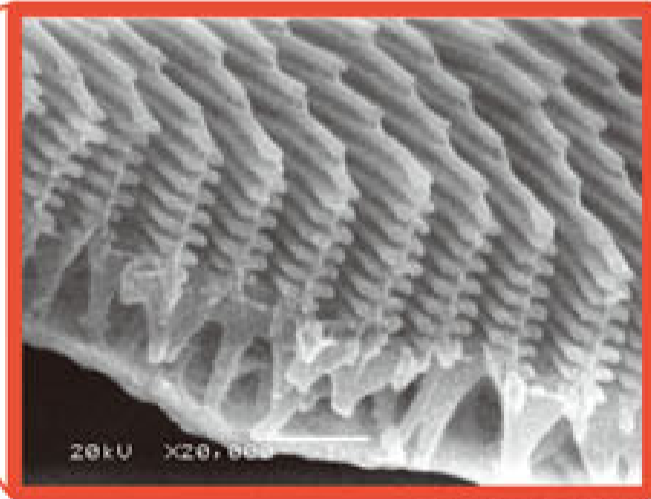
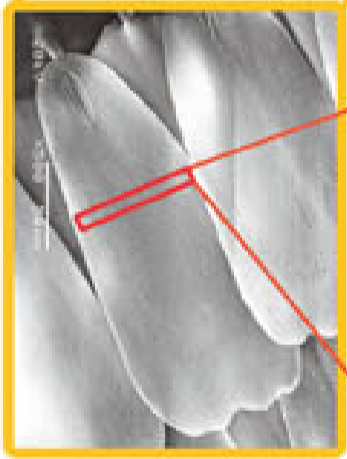
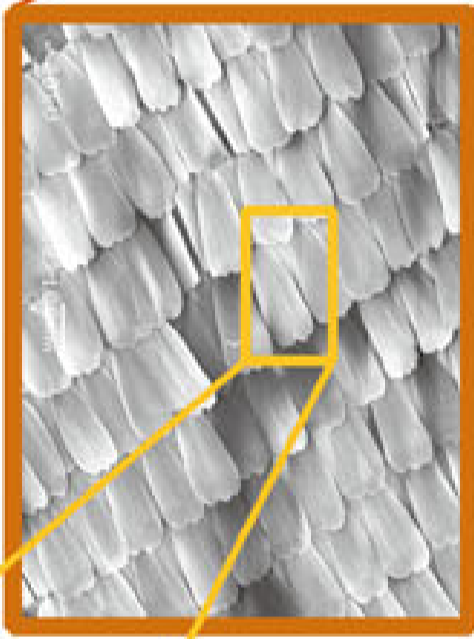


BIO Mimetics

バイオミメティクス・市民セミナー



モルフォチョウ撮影：
© 神戸 崇



バイオミメティクス (Biomimetics) は、生物模倣技術と訳します。

「力の口を模倣した痛くない注射針」「サメの皮膚を模倣した水抵抗の少ない水着」「ヤモリの指先を模倣した粘着テープ」、さまざまな分野での新技術の応用と商品開発がなされています。

生物は、5億年の自然選択によって、人が頭で考えるデザインよりも優れたデザインを獲得しています。

博物館には多くの生物標本が収蔵されていますが、標本を工学者の設計デザインの視点から見直すとどうなるでしょう。生物学者では解けなかった自然の造形美の意味が解き明かされるかもしれません。そして生物のデザインからアイデアを得て新しい技術が生まれるかもしれません。

動植物の持つ能力や形・機能などの特性を把握し、そこからヒントを得て人工的に設計・合成・製造するのが「生物規範工学」です。

生物学と工学と博物館を結ぶ、**バイオミメティクス市民セミナー**では、生物学者と工学者が、新しい視点で生物の見方を紹介します。

会場：北海道大学総合博物館／知の交流コーナー
時間：午後1時30分から午後3時30分

セミナー28：2014年4月5日(土)

魚津吉弘 (三菱レイヨン(株)リサーチフェロー)
「モスアイフィルムの意外な可能性」

セミナー29：2014年5月3日(土) 憲法記念日

Olaf Karthaus (千歳科学技術大学 教授)
「花粉を真似た材料」

セミナー30：2014年6月7日(土)

久保英夫 (北海道大学大学院理学研究院数学部門 教授)
「数学とバイオミメティクス」

セミナー31：2014年7月5日(土)

山崎剛史 (公益財団法人山階鳥類研究所 研究員)
「鳥とバイオミメティクス」

セミナー32：2014年8月2日(土)

高梨琢磨 (独立行政法人森林総合研究所
森林昆虫研究領域 主任研究員)
「生物が利用する音・振動のバイオミメティクス」

セミナー33：2014年9月6日(土)

穂積 篤 ((独)産業技術総合研究所
サステナブルマテリアル研究部門 研究グループ長)
「撥水／撥油材料の最新研究動向」

主催：北海道大学総合博物館
共催：科学研究費新学術領域「生物規範工学」
協賛：高分子学会北海道支部
北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp